

2025 年 5 月 9 日

「中核フードバンク団体育成事業」審査結果のご報告

一般社団法人全国フードバンク推進協議会は、一般財団日本民間公益活動連帯機構（JANPIA）が実施する 2024 年度通常枠〔第 1 回〕において、資金分配団体として公募した「中核フードバンク団体育成事業」の実行団体の審査結果を、下記の通りご報告いたします。

記

1 応募状況について

公募期間：2024 年 12 月 3 日から 2025 年 1 月 10 日
説明会参加団体数：34 団体
応募総数：12 団体

2 審査委員会について

（1） 審査方法

外部審査委員会を設置し、各審査委員が書類審査を実施。各審査員からの書類審査の結果を集約し、一次審査通過団体と審査委員との面談を経て、審査委員会において採択団体を決定。

（2） 審査委員会開催日

一次審査会 2025 年 2 月 12 日
二次審査会 2025 年 2 月 20 日

（3） 審査基準

ガバナンス・コンプライアンス	包括的支援プログラムに示す事業を公正かつ適確に遂行できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか
事業の妥当性	事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われているか、また、解決したい社会課題に対して事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が妥当であるか
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながる事が期待できるか
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか

3 審査結果について

外部審査委員会による審査の結果、5 団体を助成対象として採択しました。

採択団体等の詳細は以下の通りです。

採択団体と助成額（順不同）

団体名	所在地	申請事業名（主）（副）	助成額	採択理由
特定非営利活動法人 フードバンクイコロさっぽろ	北海道	（主）北海道フードバンクネットワークの基盤強化及び DX 化事業 （副）持続可能なフードバンク事業のモデル構築事業	33,299,999 円 （内訳） 直接事業費：31,089,349 円 管理的経費：1,910,650 円 評価関連経費：300,000 円	・ 連携する他の地域フードバンクと丁寧に調整し、中核的ネットワークをつくっている。 ・ ネットワーク強化と DX 化という事業内容进行评估。 ・ 独自アプリ開発についても要件定義が明確で、波及効果に期待できる。 ・ 連携する地域フードバンク団体の相互研鑽の機会を創出する等、食料支援（物資の量的支援）のみに重点を置くのではなく、各団体の質的向上を図る取組みにも期待したい。
特定非営利活動法人 フードバンク信州	長野県	（主）食料循環の地域間格差をなくすフードバンク活動の広域団体ネットワークの構築 （副）多様な活動団体が分野の枠を超えて活動できる環境とプログラムの実現	33,885,894 円 （内訳） 直接事業費：30,885,528 円 管理的経費：2,020,366 円 評価関連経費：980,000 円	・ これまで資金分配団体として取り組んできた県内フードバンク団体の設立支援活動を活かし、県域ネットワークを強化するという事業内容进行评估。 ・ 事業計画書・資金計画書も丁寧にロジックは適切であり、高い助成効果を期待できる事業規模である。 ・ 食料支援量を増加させるだけではなく、研修等の計画も盛り込み、コレクティブインパクトも意識するなど、先駆性・革新性もある。
認定 NPO 法人 セカンドハーベスト京都	京都府	（主）中核フードバンク団体基盤整備事業	33,099,783 円 （内訳） 直接事業費：31,088,232 円 管理的経費：1,911,551 円 評価関連経費：100,000 円	・ 団体の基盤強化のための各事業を、それぞれ丁寧に設計し事業計画書を作成している。 ・ ファンドレイジング等の取り組みなど、助成事業終了後も自立する方法を考えられている点进行评估。 ・ 事業計画書において、それぞれの活動が短期アウトカムなどの部分に該当するのかが整理され、具体的に計画されている。

団体名	所在地	申請事業名（主）（副）	助成額	採択理由
特定非営利活動法人 フードバンク福岡	福岡県	（主）福岡発フードバンク九州連携事業	33,300,000 円 （内訳） 直接事業費：31,829,300 円 管理的経費：1,170,700 円 評価関連経費：300,000 円	- 事業計画書と資金計画書は一定水準にあり、実現可能性が高い。 - 中長期アウトカムに設定されている「基金の設立」や「福祉分野における食品提供の政策・方針の明文化と政策提言」「参加フードバンク間の共通ルールの共有」などはいずれも重要なことであり、単なる食品提供量の増加ではない事業計画を評価。
特定非営利活動法人 新潟県フードバンク推進協議会	新潟県	（主）北陸四県の中核フードバンク団体連携基盤強化事業 （副）子どもの未来応援プロジェクト領域拡大の推進	18,540,000 円 （内訳） 直接事業費：15,480,000 円 管理的経費：2,520,000 円 評価関連経費：540,000 円	- 新潟県域のフードバンクネットワーク団体としての実績が十分にある。 - 事業内容は北陸四県（新潟、富山、石川、福井）における中間支援ネットワークの強化で、すでに四県の各団体との連携も取れており、実現性は高いと評価できる。 - フードバンクのノウハウ支援・育成活動、協働クラウドファンディング、共通ルール策定、政策提言活動やアンケートなども本事業の目的に合致している。 - 先駆性・革新性としては「あしなが X'mas プロジェクト」や「子どもの未来応援プロジェクト」などの共同プロジェクトを評価。

助成総額：152,125,676 円

（助成額の算定根拠）

助成額は実行団体よりご提出いただいた事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。

以上